

法対象条例方法書等変更届
別紙

平成30（2018）年8月

I 変更の概要

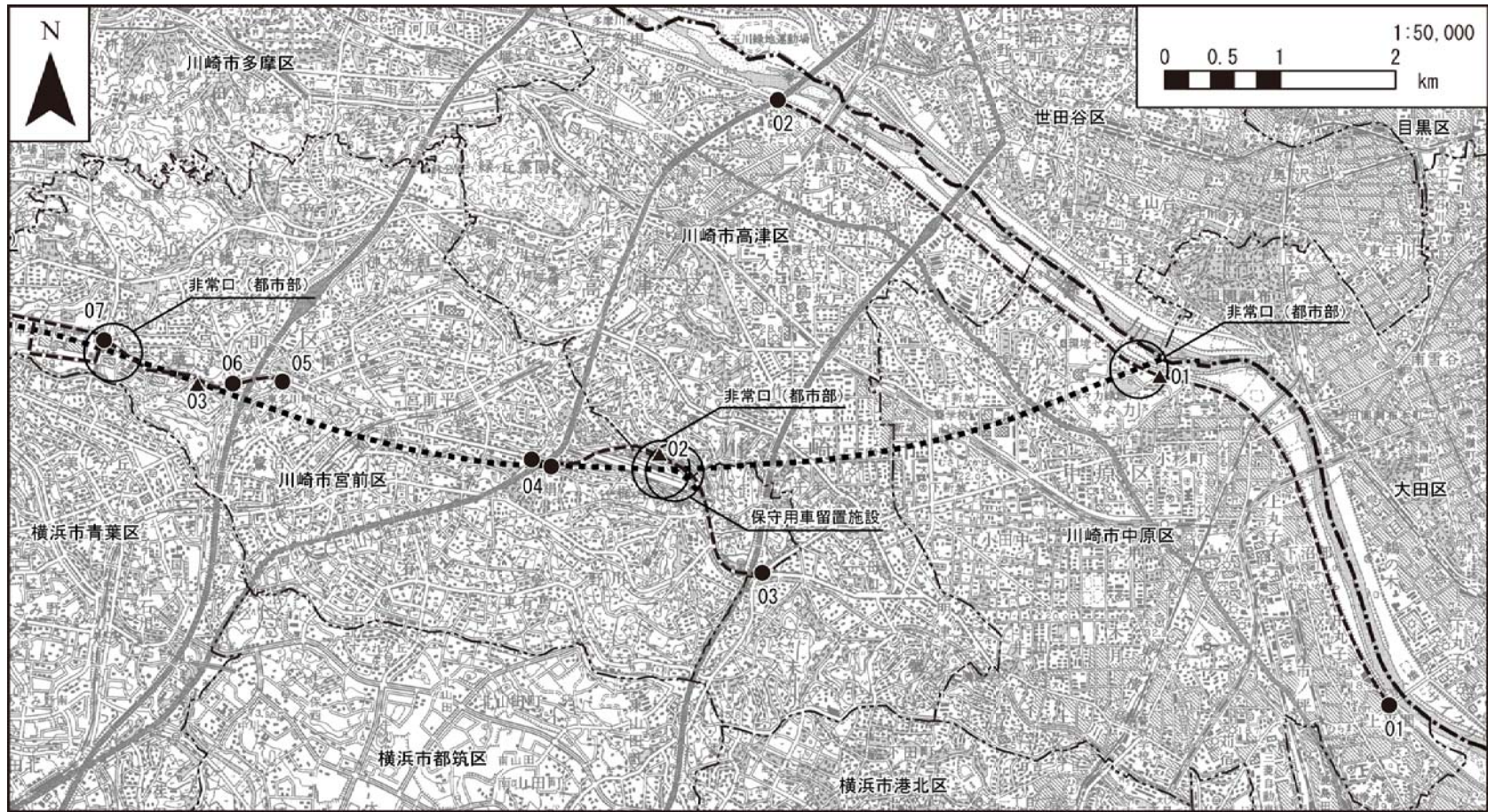
中央新幹線 品川・名古屋間の計画については、平成 26 年 8 月 26 日に中央新幹線（東京都・名古屋市間）法対象条例環境影響評価書【川崎市】（以下、「条例評価書」とする。）を提出している。

この度、計画の検討を踏まえ計画の一部を変更する。主な変更項目および理由は、表 1-1 に示すとおりである。

表 1-1 変更一覧表

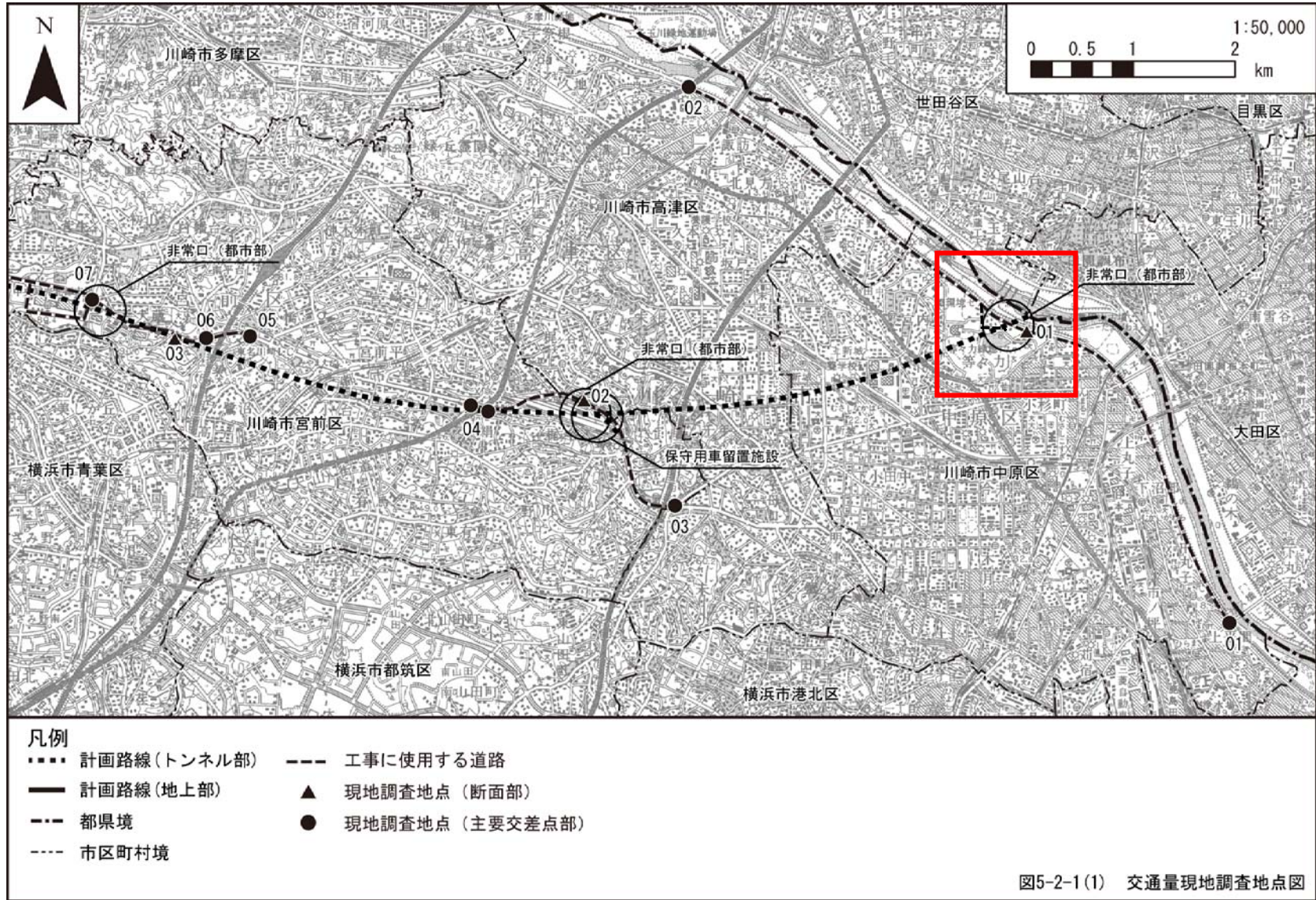
	項目	変更の内容及び理由	環境影響評価の概要
1	工事計画 工事工程、建設機械台数、資材及び機械の運搬に用いる車両の走行台数、工事用車両の走行台数	変更の対象は、A 地区（中原区等々力）の開削部（地中連続壁工、掘削工、構築工）における 1 年目～5 年目の期間であり、工事計画が詳細になることに伴い、工事計画の一部を見直し、工事工程及び建設機械台数等を変更する。	本変更による環境影響評価に変更はない。

なお、次頁以降に具体的な変更内容を示し、変更点は下線又は赤線の囲みで示している。また、図 5-2-1(1)の補足資料を巻末に示す。



- 凡例
- 計画路線(トンネル部)
 - 計画路線(地上部)
 - 都県境
 - 市区町村境
 - 工事に使用する道路
 - ▲ 現地調査地点(断面部)
 - 現地調査地点(主要交差点部)

図5-2-1(1) 交通量現地調査地点図



【変更後】

※条例評価書 p. 5-2-9 【図 5-2-2(1)】及び p. 5-2-21 【図 5-2-4(1)】

条例評価書資料編 p. 環 1-2-2 【図 1-2-1(1)】、 p. 環 1-3-2 【図 1-3-1(1)】、 p. 環 1-4-2 【図 1-4-1(1)】及び p. 環 1-7-2 【図 1-7-1(1)】も同様

【変更前】（条例評価書 p. 5-2-23）

5-2 地域交通（交通混雑、交通安全）

（3）予測

（中略）

1) 交通量、交通流への影響

ア. 予測手法

（中略）

イ. 予測方法等

ア) 予測地域・予測地点

予測地域は、工事用車両の走行に係る交通量、交通流への影響を受けるおそれがあると認められる地域として、調査地域と同様とした。

予測地点は、調査地点を勘案し、対象となる交通混雑の状況を適切に予測することができる地点とした。

イ) 予測時期

（中略）

表 5-2-13 予測時期等

地点番号	交差点名	予測時期	工事用車両台数 (1日あたり、往復)	予測時間帯
01	ガス橋	工事開始後3年目	161台	14:30～15:30
02	厚木街道立体交差	工事開始後3年目	161台	17:00～18:00
03	野川	工事開始後6年目	719台	14:00～15:00
04	尻手黒川国道下・馬絹	工事開始後6年目	719台	16:00～17:00
05	東名入口	工事開始後3年目	666台	7:15～8:15
06	犬蔵	工事開始後3年目	666台	7:45～8:45
07	清水台	工事開始後3年目	666台	7:45～8:45
08	稗原公民館・稗原	工事開始後6年目	546台	7:30～8:30
09	ヨネッティー前	工事開始後6年目	546台	14:00～15:00
10	柿生	工事開始後3年目	169台	7:15～8:15
11	黒川	工事開始後3年目	338台	8:45～9:45

【変更後】

5-2 地域交通（交通混雑、交通安全）

(3) 予測

(中略)

1) 交通量、交通流への影響

ア. 予測手法

(中略)

イ. 予測方法等

ア) 予測地域・予測地点

予測地域は、工事用車両の走行に係る交通量、交通流への影響を受けるおそれがあると認められる地域として、調査地域と同様とした。

予測地点は、調査地点を勘案し、対象となる交通混雑の状況を適切に予測することができる地点とした。なお、交通量の少ない地点は除いている。

イ) 予測時期

(中略)

表 5-2-13 予測時期等

地点番号	交差点名	予測時期	工事用車両台数 (1日あたり、往復)	予測時間帯
01	ガス橋	工事開始後4年目	245台	14:30～15:30
02	厚木街道立体交差	工事開始後4年目	245台	17:00～18:00
03	野川	工事開始後6年目	719台	14:00～15:00
04	尻手黒川国道下・馬絹	工事開始後6年目	719台	16:00～17:00
05	東名入口	工事開始後3年目	666台	7:15～8:15
06	犬蔵	工事開始後3年目	666台	7:45～8:45
07	清水台	工事開始後3年目	666台	7:45～8:45
08	稗原公民館・稗原	工事開始後6年目	546台	7:30～8:30
09	ヨネッティー前	工事開始後6年目	546台	14:00～15:00
10	柿生	工事開始後3年目	169台	7:15～8:15
11	黒川	工事開始後3年目	338台	8:45～9:45

【変更前】（条例評価書 p. 5-2-25）

表 5-2-15 工事用車両の走行に伴う交通流への影響予測結果

地点 番号	交差点名	予測 時間帯	設計 交通量 (台/時)	工事用 車両台数 (台/時)	設計交通 量に対す る工事用 車両台数 の割合 (%)	交差点需要率		
						現況	工事中	増加分
01	ガス橋	14:30～ 15:30	1,670	18	1.1	0.796	0.814	0.018
02	厚木街道立体交差	17:00～ 18:00	1,791	13	0.7	0.592	0.592	0.000
03	野川	14:00～ 15:00	2,947	84	2.9	0.708	0.801	0.093
04	尻手黒川国道下・馬 絹	16:00～ 17:00	2,344	84	3.7	0.619	0.660	0.041
05	東名入口	7:15～ 8:15	3,604	55	1.5	0.595	0.599	0.004
06	犬蔵	7:45～ 8:45	3,385	66	2.0	0.573	0.648	0.075
07	清水台	7:45～ 8:45	2,939	59	2.0	0.673	0.698	0.025
08	稗原公民館・稗原	7:30～ 8:30	2,754	43	1.6	0.668	0.683	0.015
09	ヨネッティ前	14:00～ 15:00	1,588	64	4.2	0.507	0.570	0.063
10	柿生	7:15～ 8:15	1,579	24	1.5	0.685	0.703	0.017
11	黒川	8:45～ 9:45	1,542	36	2.4	0.588	0.625	0.037

注1. 表中に示した設計交通量は、（実測交通量または需要交通量）＋工事用車両台数である。

需要交通量＝実測交通量（停止線通過台数）＋1時間毎の渋滞長の増減分（車両台数に換算）

（詳細は「資料編1-9 自動車実測交通量調査結果と需要交通量算定結果」参照）

注2. 工事用車両の配分の詳細は、「資料編1-10 交差点需要率算定表」に示す。

【変更後】

表 5-2-15 工事用車両の走行に伴う交通流への影響予測結果

地点 番号	交差点名	予測 時間帯	設計 交通量 (台/時)	工事用 車両台数 (台/時)	設計交通 量に対す る工事用 車両台数 の割合 (%)	交差点需要率		
						現況	工事中	増加分
01	ガス橋	14:30～ 15:30	1,673	21	1.3	0.796	0.817	0.021
02	厚木街道立体交差	17:00～ 18:00	1,799	21	1.2	0.592	0.592	0.000
03	野川	14:00～ 15:00	2,947	84	2.9	0.708	0.801	0.093
04	尻手黒川国道下・馬 絹	16:00～ 17:00	2,344	84	3.7	0.619	0.660	0.041
05	東名入口	7:15～ 8:15	3,604	55	1.5	0.595	0.599	0.004
06	犬蔵	7:45～ 8:45	3,385	66	2.0	0.573	0.648	0.075
07	清水台	7:45～ 8:45	2,939	59	2.0	0.673	0.698	0.025
08	稗原公民館・稗原	7:30～ 8:30	2,754	43	1.6	0.668	0.683	0.015
09	ヨネッティー前	14:00～ 15:00	1,588	64	4.2	0.507	0.570	0.063
10	柿生	7:15～ 8:15	1,579	24	1.5	0.685	0.703	0.017
11	黒川	8:45～ 9:45	1,542	36	2.4	0.588	0.625	0.037

注1. 表中に示した設計交通量は、(実測交通量または需要交通量) + 工事用車両台数である。

需要交通量 = 実測交通量 (停止線通過台数) + 1 時間毎の渋滞長の増減分 (車両台数に換算)

(詳細は「資料編1-9 自動車実測交通量調査結果と需要交通量算定結果」参照)

注2. 工事用車両の配分の詳細は、「資料編1-10 交差点需要率算定表」に示す。

【変更前】(条例評価書 p. 5-2-27)

表 5-2-16 工所用車両の走行に伴う交通安全への影響の予測結果

市区	調査地区	計画施設の 種類	工所用車両の走行に伴う交通安全への影響
川崎市	中原区	等々力	非常口 (都市部) 工事施工ヤードの出入口の設置を計画している市道幸多摩線は歩道のない区間がほとんどであるが、多摩川堤防上にサイクリングコースが整備されている。また、主な交差点には横断歩道及び信号が整備されているほか、歩道橋が設置されている箇所もある。以上のことから、本地区では、工事従事者への講習・指導、工事計画の周知、交通誘導員による誘導を行うことによって、交通安全は確保できると予測する。
	宮前区	梶ヶ谷	非常口 (都市部) 工所用車両の走行が予定されている市道尻手黒川線へは、信号交差点を介して出入する予定である。同市道は、歩車道が分離されており、主な交差点には横断歩道及び信号が整備されているほか、歩道橋が設置されている箇所もある。以上のことから、本地区では、工事従事者への講習・指導、工事計画の周知を図ることによって、交通安全は確保できると予測する。
		犬蔵	非常口 (都市部) 工事施工ヤードの出入口の設置を計画している市道尻手黒川線及び工所用車両の走行が予定されている県道 13 号、市道梶ヶ谷菅生線 (Ⅲ) は、歩車道が分離されており、主な交差点には横断歩道及び信号が整備されている。以上のことから、本地区では、工事従事者への講習・指導、工事計画の周知、交通誘導員による誘導を行うことによって、交通安全は確保できると予測する。
	麻生区	東百合丘	非常口 (都市部) 工事施工ヤードの出入口の設置を計画している市道尻手黒川線 (Ⅲ)、市道野川柿生線 (Ⅶ)、市道麻生 6 号線、市道王禅寺 35 号は、歩車道が分離されており、主な交差点には横断歩道及び信号が整備されている。以上のことから、本地区では、工事従事者への講習・指導、工事計画の周知、交通誘導員による誘導を行うことによって、交通安全は確保できると予測する。
		片平	非常口 (都市部) 工事施工ヤードから県道 137 号までは、工所用道路を新設し、取り付ける計画である。県道 137 号は、道路に面して柿生小学校が立地するが、一部区間を除き歩車道が分離されており、主な交差点には横断歩道及び信号が整備されている。以上のことから、本地区では、搬入時間等の検討、工事従事者への講習・指導、工事計画の周知、交通誘導員による誘導を行うことによって、交通安全は確保できると予測する。

【変更後】

表 5-2-16 工事中車両の走行に伴う交通安全への影響の予測結果

市区	調査地区	計画施設の 種類	工事中車両の走行に伴う交通安全への影響	
川崎市	中原区	等々力	非常口 (都市部)	工事施工ヤードの出入口の設置を計画している市道幸多摩線は歩道のない区間がほとんどであるが、多摩川堤防上にサイクリングコースが整備されている。また、主な交差点には横断歩道及び信号が整備されているほか、歩道橋が設置されている箇所もある。また、市道幸多摩線からの出入口を整備する限られた一時的な期間において図 5-2-1(1)に示すルートを使用するが、工事中車両が通行する期間及び台数を極力少なくするとともに、ルート上に交通誘導員を配置する計画としている。以上のことから、本地区では、工事従事者への講習・指導、工事計画の周知、交通誘導員による誘導を行うことによって、交通安全は確保できると予測する。
	宮前区	梶ヶ谷	非常口 (都市部)	工事中車両の走行が予定されている市道尻手黒川線へは、信号交差点を介して出入する予定である。同市道は、歩車道が分離されており、主な交差点には横断歩道及び信号が整備されているほか、歩道橋が設置されている箇所もある。以上のことから、本地区では、工事従事者への講習・指導、工事計画の周知を図ることによって、交通安全は確保できると予測する。
		犬蔵	非常口 (都市部)	工事施工ヤードの出入口の設置を計画している市道尻手黒川線及び工事中車両の走行が予定されている県道 13 号、市道梶ヶ谷菅生線 (Ⅲ) は、歩車道が分離されており、主な交差点には横断歩道及び信号が整備されている。以上のことから、本地区では、工事従事者への講習・指導、工事計画の周知、交通誘導員による誘導を行うことによって、交通安全は確保できると予測する。
	麻生区	東百合丘	非常口 (都市部)	工事施工ヤードの出入口の設置を計画している市道尻手黒川線及び工事中車両の走行が予定されている市道尻手黒川線 (Ⅲ)、市道野川柿生線 (Ⅶ)、市道麻生 6 号線、市道王禅寺 35 号は、歩車道が分離されており、主な交差点には横断歩道及び信号が整備されている。以上のことから、本地区では、工事従事者への講習・指導、工事計画の周知、交通誘導員による誘導を行うことによって、交通安全は確保できると予測する。
		片平	非常口 (都市部)	工事施工ヤードから県道 137 号までは、工事用道路を新設し、取り付ける計画である。県道 137 号は、道路に面して柿生小学校が立地するが、一部区間を除き歩車道が分離されており、主な交差点には横断歩道及び信号が整備されている。以上のことから、本地区では、搬入時間等の検討、工事従事者への講習・指導、工事計画の周知、交通誘導員による誘導を行うことによって、交通安全は確保できると予測する。

【変更前】(条例評価書 p. 5-2-29)

5-2 地域交通 (交通混雑、交通安全)

(中略)

(5) 評価

1) 交通量、交通流への影響

予測地点での交差点需要率は 0.570~0.814 であり、交差点交通流に支障が出るとされる 0.9 をいずれも下回った。なお、設計交通量に対する工事用車両の割合は 0.7%~4.2%、交差点需要率の増加率は 0.000~0.093 である。

本事業では、発生土の運搬について、貨物列車運搬等を含む車両走行ルート分散化を図るなど工事用車両の走行による影響の低減を図るとともに、可能な限り混雑時間帯を避けた時間帯に車両が走行するよう走行時間帯を管理し、交通流への影響を極力抑制するよう配慮する。

また、具体的な走行計画の策定にあたっては、事業の実施段階までに交通管理者及び道路管理者と協議を行い、安全かつ円滑な交通の確保に配慮した計画を策定する。

したがって、工事用車両の走行に係る交通量、交通流への影響について回避又は低減が図られており、周辺地域の生活環境の保全に支障のないものと評価する。

2) 交通安全への影響

(後略)

【変更後】

5-2 地域交通（交通混雑、交通安全）

（中略）

(5) 評価

1) 交通量、交通流への影響

予測地点での交差点需要率は0.570～0.817であり、交差点交通流に支障が出るとされる0.9をいずれも下回った。なお、設計交通量に対する工事用車両の割合は1.2%～4.2%、交差点需要率の増加分は0.000～0.093である。

本事業では、発生土の運搬について、貨物列車運搬等を含む車両走行ルート分散化を図るなど工事用車両の走行による影響の低減を図るとともに、可能な限り混雑時間帯を避けた時間帯に車両が走行するよう走行時間帯を管理し、交通流への影響を極力抑制するよう配慮する。

また、具体的な走行計画の策定にあたっては、事業の実施段階までに交通管理者及び道路管理者と協議を行い、安全かつ円滑な交通の確保に配慮した計画を策定する。

したがって、工事用車両の走行に係る交通量、交通流への影響について回避又は低減が図られており、周辺地域の生活環境の保全に支障のないものと評価する。

2) 交通安全への影響

（後略）

表 8-1(1) 環境影響評価の結果（概要）

環境影響評価項目	環境影響評価の結果
<p>地域社会</p> <p>人と自然とのふれあい活動の場</p>	<p><工事中></p> <p>人と自然とのふれあい活動の場の消滅又は改変はなく、人と自然とのふれあい活動の場が持つ機能の変化の程度も少ない。さらに人と自然とのふれあい活動の場までの利用経路阻害の程度も少ないものと予測する。</p> <p>また、工事中（工事の影響）に係る環境保全のための措置は、利用上の支障事項等について案内板及びチラシ等を利用して利用者に対して、ご説明をすることにより工事中（工事の影響）に伴う利用性への影響を緩和することができる。仮設物の形式、色合いの検討を行うことにより快適性への影響を緩和することができる。工事施工ヤードの改変区域をできる限り小さくすることで利用性への影響を緩和することができる。</p> <p>したがって、工事中（工事の影響）による人と自然とのふれあい活動の場に係る環境影響の回避又は低減が図られており、周辺地域の生活環境の保全に支障のないものと評価する。</p>
<p>地域交通</p> <p>（交通混雑、交通安全）</p>	<p><工事中></p> <p>交通量、交通流への影響に関して、予測地点での交差点需要率は0.570～0.814であり、交差点交通流に支障が出るとされる0.9をいずれも下回った。なお、設計交通量に対する工事用車両の割合は0.7%～4.2%、交差点需要率の増加分は0.000～0.093である。</p> <p>本事業では、発生土の運搬について、貨物列車運搬等を含む車両走行ルート分散化を図るなど工事用車両の走行による影響の低減を図るとともに、可能な限り混雑時間帯を避けた時間帯に車両が走行するよう走行時間帯を管理し、交通流への影響を極力抑制するよう配慮する。</p> <p>また、具体的な走行計画の策定にあたっては、事業の実施段階までに交通管理者及び道路管理者と協議を行い、安全かつ円滑な交通の確保に配慮した計画を策定する。</p> <p>したがって、工事用車両の走行に係る交通量、交通流への影響について回避又は低減が図られており、周辺地域の生活環境の保全に支障のないものと評価する。</p>

【変更後】

表 8-1(1) 環境影響評価の結果（概要）

環境影響評価項目	環境影響評価の結果
<p>地域社会</p> <p>人と自然とのふれあい活動の場</p>	<p><工事中></p> <p>人と自然とのふれあい活動の場の消滅又は改変はなく、人と自然とのふれあい活動の場が持つ機能の変化の程度も少ない。さらに人と自然とのふれあい活動の場までの利用経路阻害の程度も少ないものと予測する。</p> <p>また、工事中（工事の影響）に係る環境保全のための措置は、利用上の支障事項等について案内板及びチラシ等を利用して利用者に対して、ご説明をすることにより工事中（工事の影響）に伴う利用性への影響を緩和することができる。仮設物の形式、色合いの検討を行うことにより快適性への影響を緩和することができる。工事施工ヤードの改変区域をできる限り小さくすることで利用性への影響を緩和することができる。</p> <p>したがって、工事中（工事の影響）による人と自然とのふれあい活動の場に係る環境影響の回避又は低減が図られており、周辺地域の生活環境の保全に支障のないものと評価する。</p>
<p>地域交通</p> <p>（交通混雑、交通安全）</p>	<p><工事中></p> <p>交通量、交通流への影響に関して、予測地点での交差点需要率は0.570～0.817であり、交差点交通流に支障が出るとされる0.9をいずれも下回った。なお、設計交通量に対する工事用車両の割合は1.2%～4.2%、交差点需要率の増加分は0.000～0.093である。</p> <p>本事業では、発生土の運搬について、貨物列車運搬等を含む車両走行ルート分散化を図るなど工事用車両の走行による影響の低減を図るとともに、可能な限り混雑時間帯を避けた時間帯に車両が走行するよう走行時間帯を管理し、交通流への影響を極力抑制するよう配慮する。</p> <p>また、具体的な走行計画の策定にあたっては、事業の実施段階までに交通管理者及び道路管理者と協議を行い、安全かつ円滑な交通の確保に配慮した計画を策定する。</p> <p>したがって、工事用車両の走行に係る交通量、交通流への影響について回避又は低減が図られており、周辺地域の生活環境の保全に支障のないものと評価する。</p>

表 3-2-1 工事工程表

区分	工種	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	
A地区	開削部	地中連続壁工	■									
		掘削工			■							
		構築工			■				■			■
		建屋築造工					■					
		電気機械設備工					■					
	非開削部	ガイドウェイ設置工								■		

表 3-2-1 工事工程表

区分	工種	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
A地区	開削部	地中連続壁工	■								
		掘削工			■						
		構築工				■			■		■
		建屋築造工					■				
		電気機械設備工					■				
	非開削部	ガイドウェイ設置工								■	

15

※工期は1年単位の区切りで記載しており、開削部は地中連続壁工→掘削工→構築工の順に施工し、各工期は重ならない。

※現時点の工程であり、今後変更が生じた場合は、必要な手続きを行う。

表 3-3-1 建設機械台数

場所	工種	建設機械	1年目		2年目		3年目		4年目		5年目		6年目		7年目		8年目		9年目		10年目					
			最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年		
A地区	開削部	1 地中運削壁工	クレーン付トラック	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
			タイヤローラー8~20t	4	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			モーターグレーダー	4	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			ロードローラー10~12t	4	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			ラフテレンクレーン25t	22	32	22	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			コンクリートポンプ車	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			ラフテレンクレーン45t	6	6	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			クローラークレーン50t	22	82	12	120	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			クローラークレーン450t	12	60	12	120	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			トラッククレーン35t	6	11	6	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			トラッククレーン45t	5	10	5	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			トラッククレーン100t	2	4	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			クローラー式アースオーガ	22	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			バンクホウ0.45m3	22	129	21	213	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			掘削機	21	105	21	210	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			大型ブレイカー1300kg級	0	0	15	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			ラフテレンクレーン35t	0	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			バンクホウ0.45m3	0	0	0	0	9	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			クローラークレーン150t	0	0	0	0	18	108	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			バンクホウ1.4m3	0	0	0	0	65	390	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			クローラークレーン150t	0	0	0	0	15	90	15	90	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			トラッククレーン150t	0	0	0	0	3	18	3	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			コンクリートポンプ車	0	0	0	0	7	42	7	60	3	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			クローラークレーン50t	0	0	0	0	0	0	22	132	22	110	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			ラフタークレーン25t	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	76	418	4	20	0	0	0	0	48	338	0
	クレーン付トラック	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	バンクホウ0.45m3	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	3	8	0	0	0	0	0	0		
	大型ブレイカー1300kg級	0	0	0	0	0	0	0	0	21	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	バンクホウ0.8m3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	ブルドーザー15t	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0		
	クローラードリル130ps	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	66	183	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	ブルドーザー15t	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0		
	クローラードリル130ps	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	66	183	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	ラフテレンクレーン50t	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	ラフテレンクレーン150t	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	ラフテレンクレーン50t	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	ミニクレーン4.9t	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	高所作業車ブーム型(巻掛式)、リフト(タイヤ)8m級	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	掘削機	0	0	0	0	0	0	0	0	34	102	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	クローラークレーン150t	0	0	0	0	0	0	0	0	17	51	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	ラフテレンクレーン15t	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	6	0	0	0	0	0	0		
	ラフテレンクレーン25t	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	9	14	130	10	22	0	0	0	0	0	0	0		
	ラフテレンクレーン50t	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	クローラークレーン80t	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34	102	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	バンクホウ0.7m3	0	0	0	0	0	0	0	0	21	93	21	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	クローラークレーン50t	0	0	0	0	0	0	0	0	21	42	21	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	バンクホウ0.4m3	0	0	0	0	0	0	0	0	21	42	21	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	コンクリートポンプ車R	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	100	5	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	バンクホウ0.25m3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	42	7	26	0	0	0	0	0	0	0		
	タイヤローラー8~20t	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	バンクホウ0.08m3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	18	0	0	0	0	0	0	0	0		
	ラフテレンクレーン25t	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	高所作業車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	クローラークレーン250t	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0		
	ラフテレンクレーン16t	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10	11	22	0	0	0	0	0	0	0		
	根守用車(移動用)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	22	44	308	0	0	0	0	0	0	0		
	門型クレーン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44	220	44	44		
	非開削部	1 ガイドウェイ設置工	GW仮設車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44	220	44	44	

【変更後】

表 3-3-1 建設機械台数

場所	工種	建設機械	1年目		2年目		3年目		4年目		5年目		6年目		7年目		8年目		9年目		10年目					
			最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年		
A地区	開削部	1 地中連削壁工	ラフクレンクレーン25t	22	85	11	132	22	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
			クローラークレーン80t	14	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			クローラークレーン150t	22	58	22	264	22	73	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			バックホウ0.12m3	44	121	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			バックホウ0.45m3	22	77	22	264	22	73	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			バックホウ0.7m3	35	143	22	264	42	128	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			クレーン付トラック4t	22	50	0	0	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			タイヤローラー8~20t	35	82	0	0	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			モーターグレーダー	22	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			ロードローラー10~12t	22	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			コンクリートポンプ車	6	8	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			掘削機	44	88	44	528	44	146	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			大型ブレーカー1300kg級	11	11	0	0	14	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			ブルドーザー3t	7	24	0	0	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			ブルドーザー15t	28	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			ミニクレーン4.9t	22	83	22	264	22	85	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			コンパインドローラー4t	11	17	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			アスファルトフィニッシャー6.0m	4	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			杭打機	88	209	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			スチビライザー	7	7	0	0	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			2 掘削工	クローラークレーン350t	0	0	0	0	20	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
				バックホウ0.4m3クラム	0	0	0	0	40	54	14	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
				バックホウ0.45m3	0	0	0	0	20	140	20	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
				バックホウ0.7m3	0	0	0	0	120	840	120	240	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
				ラフクレンクレーン25t	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	76	418	4	20	0	0	48	338	
				ラフクレンクレーン50t	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10	
			3 構築工	ラフクレンクレーン60t	0	0	0	0	0	0	6	6	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	66
				ラフクレンクレーン150t	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	5
				クローラークレーン80t	0	0	0	0	0	0	22	220	22	198	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
				クローラークレーン150t	0	0	0	0	0	0	44	440	44	396	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	バックホウ0.45m3	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	6	0	0	0	0	0		
	バックホウ0.8m3	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0	0		
	コンクリートポンプ車	0		0	0	0	0	0	36	63	3	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	クレーン付トラック4t	0		0	0	0	0	0	22	220	22	264	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	ブルドーザー15t	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0		
	ブルドーザー15t	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0		
	クローラードリル130pps	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	66	183	0	0	0	0	0	0	0	0		
	クローラードリル130pps	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	66	183	0	0	0	0	0	0	0	0		
	ミニクレーン4.9t	0		0	0	0	0	0	22	220	22	242	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	66		
	高所作業車ブーム型(籠枠式)、リフト(タイヤ)8m級	0		0	0	0	0	0	0	88	44	462	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	66		
	4 建屋築造工	掘削機		0	0	0	0	0	0	0	0	34	102	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		クローラークレーン150t		0	0	0	0	0	0	0	0	17	51	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		ラフクレンクレーン16t		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0	
		ラフクレンクレーン25t		0	0	0	0	0	0	0	0	9	9	14	130	10	22	0	0	0	0	0	0	0	0	
		ラフクレンクレーン50t	0	0	0	0	0	0	0	0	9	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		クローラークレーン80t	0	0	0	0	0	0	0	0	34	102	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		バックホウ0.7m3	0	0	0	0	0	0	0	0	21	93	21	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		クローラークレーン50t	0	0	0	0	0	0	0	0	21	42	21	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		バックホウ0.4m3	0	0	0	0	0	0	0	0	21	42	21	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		コンクリートポンプ車8t	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	100	5	10	0	0	0	0	0	0	0	0		
		バックホウ0.25m3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	42	7	26	0	0	0	0	0	0	0	0		
		タイヤローラー8~20t	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0		
	バックホウ0.08m3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	18	0	0	0	0	0	0	0	0			
	5 電気機械設備工	ラフクレンクレーン25t	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		高所作業車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		クローラークレーン250t	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0		
		ラフクレンクレーン16t	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10	11	22	0	0	0	0	0	0	0	0		
		保守用車(移動用)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	22	44	308	0	0	0	0	0	0	0	0		
	非開削部	3 ガイドウェイ設置工	門型クレーン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44	220	44	44	
			GN底設置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44	220	44	44	

【変更前】（条例評価書資料編 p. 事 3-4-1）

3-4 資材及び機械の運搬に用いる車両の走行台数について

資材及び機械の運搬に用いる車両の走行台数については、資材の運搬に用いる車両、機械の運搬に用いる車両及び発生土等の運搬に用いる車両それぞれに以下の示す方法で算定し合計した。

(1) 資材の運搬に用いる車両台数

（中略）

(2) 機械の運搬に用いる車両

（中略）

(3) 発生土の運搬に用いる車両

（中略）

これらの方法に基づいて算定を行ったそれぞれの台数を合計した資材及び機械の運搬に用いる台数を表 3-4-1～表 3-4-5 に示す。なお、予測評価にあたっては、1 日あたりの台数が必要となるため、1 月当たりの車両の合計台数を月当たりの稼働日数で除して 1 日当たりの車両の台数を算定して用いた。

【変更後】

3-4 資材及び機械の運搬に用いる車両の走行台数について

資材及び機械の運搬に用いる車両の走行台数については、資材の運搬に用いる車両、機械の運搬に用いる車両及び発生土等の運搬に用いる車両それぞれに以下の示す方法で算定し合計した。

(1) 資材の運搬に用いる車両台数

(中略)

(2) 機械の運搬に用いる車両

(中略)

(3) 発生土の運搬に用いる車両

(中略)

これらの方法に基づいて算定を行ったそれぞれの台数を合計した資材及び機械の運搬に用いる台数を表 3-4-1～表 3-4-5 に示す。なお、予測評価にあたっては、1 日あたりの台数が必要となるため、1 月当たりの車両の合計台数を月当たりの稼働日数で除して 1 日当たりの車両の台数を算定して用いた。また、A地区については、上記の算定方法によると掘削工の発生土運搬において 1 日あたりの台数が最大となるが、工事計画を詳細に検討した結果、構築工のコンクリート打設日の走行台数がこれを超えるため、予測評価では構築工のコンクリート打設日の走行台数を用いた。

表 3-4-1 資材及び機械の運搬に用いる車両の走行台数

場所		1年目		2年目		3年目		4年目		5年目		6年目		7年目		8年目		9年目		10年目	
		最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年
A地区	大型車	757	4,358	753	7,799	3,270	22,519	648	4,237	1,954	8,117	1,954	3,758	136	845	76	214	264	1,320	264	370
	小型車	572	6,864	572	6,864	572	6,864	572	6,864	572	4,254	313	1,902	313	1,694	88	88	528	2,640	528	528
運搬車両 合計		1,329	11,222	1,325	14,663	3,842	29,383	1,220	11,101	2,526	12,371	2,267	5,660	449	2,539	164	302	792	3,960	792	898

表 3-4-2 資材及び機械の運搬に用いる車両の走行台数

場所		1年目		2年目		3年目		4年目		5年目		6年目		7年目		8年目		9年目		10年目		11年目	
		最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年
B地区	大型車	3,924	20,999	3,488	34,964	3,026	26,555	2,489	6,912	11,909	75,705	14,847	154,741	14,847	156,167	14,200	155,818	13,781	86,960	1,920	11,937	186	571
	小型車	516	3,411	538	6,161	525	4,719	1,056	7,843	968	11,616	968	11,616	1,452	15,488	1,452	17,424	2,117	17,498	2,464	17,558	1,100	5,016
運搬車両 合計		4,440	24,410	4,026	41,125	3,551	31,274	3,545	14,755	12,877	87,321	15,815	166,357	16,299	171,655	15,652	173,242	15,898	104,458	4,384	29,495	1,286	5,587

表 3-4-3 資材及び機械の運搬に用いる車両の走行台数

場所		1年目		2年目		3年目		4年目		5年目		6年目		7年目		8年目		9年目		10年目		11年目	
		最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年
C地区	大型車	756	4,357	753	9,025	3,147	18,925	648	4,297	303	2,441	448	1,209	128	246	2	2	0	0	8	16	30	90
	小型車	572	6,864	572	6,864	572	6,864	572	6,864	572	4,227	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
運搬車両 合計		1,328	11,221	1,325	15,889	3,719	25,789	1,220	11,161	875	6,668	448	1,209	128	246	2	2	0	0	8	16	30	90

表 3-4-1 資材及び機械の運搬に用いる車両の走行台数

場所		1年目		2年目		3年目		4年目		5年目		6年目		7年目		8年目		9年目		10年目	
		最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年
A地区	大型車	1,602	3,161	768	9,216	2,700	21,885	2,340	8,455	445	4,125	1,954	3,758	136	845	76	214	264	1,320	264	370
	小型車	330	3,146	330	3,960	330	3,750	360	3,980	340	4,050	313	1,902	313	1,694	88	88	528	2,640	528	528
運搬車両合計		1,932	6,307	1,098	13,176	3,030	25,635	2,700	12,435	785	8,175	2,267	5,660	449	2,539	164	302	792	3,960	792	898

表 3-4-2 資材及び機械の運搬に用いる車両の走行台数

場所		1年目		2年目		3年目		4年目		5年目		6年目		7年目		8年目		9年目		10年目		11年目	
		最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年
B地区	大型車	3,924	20,999	3,488	34,964	3,026	26,555	2,489	6,912	11,909	75,705	14,847	154,741	14,847	156,167	14,200	155,818	13,781	86,960	1,920	11,937	186	571
	小型車	516	3,411	538	6,161	525	4,719	1,056	7,843	968	11,616	968	11,616	1,452	15,488	1,452	17,424	2,117	17,498	2,464	17,558	1,100	5,016
運搬車両合計		4,440	24,410	4,026	41,125	3,551	31,274	3,545	14,755	12,877	87,321	15,815	166,357	16,299	171,655	15,652	173,242	15,898	104,458	4,384	29,495	1,286	5,587

表 3-4-3 資材及び機械の運搬に用いる車両の走行台数

場所		1年目		2年目		3年目		4年目		5年目		6年目		7年目		8年目		9年目		10年目		11年目	
		最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年
C地区	大型車	756	4,357	753	9,025	3,147	18,925	648	4,297	303	2,441	448	1,209	128	246	2	2	0	0	8	16	30	90
	小型車	572	6,864	572	6,864	572	6,864	572	6,864	572	4,227	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
運搬車両合計		1,328	11,221	1,325	15,889	3,719	25,789	1,220	11,161	875	6,668	448	1,209	128	246	2	2	0	0	8	16	30	90

表 1-8-1 (1) 工事中車両の走行台数

場所		1年目		2年目		3年目		4年目		5年目		6年目		7年目		8年目		9年目		10年目	
		最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年
A地区	大型車	581	3,409	577	5,980	3,265	22,478	637	4,160	1,953	8,086	1,953	3,650	120	427	74	174	264	1,320	264	367
	小型車	286	3,432	286	3,432	286	3,432	286	3,432	286	2,252	313	1,902	313	1,694	88	88	528	2,640	528	531
運搬車輛 合計		867	6,841	863	9,412	3,551	25,910	923	7,592	2,239	10,338	2,266	5,552	433	2,121	162	262	792	3,960	792	898

表 1-8-1 (2) 工事中車両の走行台数

場所		1年目		2年目		3年目		4年目		5年目		6年目		7年目		8年目		9年目		10年目		11年目	
		最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年
B地区	大型車	3,924	20,864	3,475	34,867	3,017	26,491	2,489	5,938	11,906	75,164	14,847	154,721	14,847	155,513	14,181	155,624	13,753	89,400	2,118	14,162	278	1,345
	小型車	516	3,411	538	6,161	525	4,719	1,056	7,843	968	11,616	968	11,616	1,452	15,488	1,452	17,424	1,589	14,858	1,919	11,872	555	2,854
運搬車輛 合計		4,440	24,275	4,013	41,028	3,542	31,210	3,545	13,781	12,874	86,780	15,815	166,337	16,299	171,001	15,633	173,048	15,342	104,258	4,037	26,034	833	4,199

表 1-8-1 (3) 工事中車両の走行台数

場所		1年目		2年目		3年目		4年目		5年目		6年目		7年目		8年目		9年目		10年目		11年目	
		最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年
C地区	大型車	580	3,408	577	6,907	3,142	18,495	637	4,220	303	2,417	448	1,161	128	246	2	2	0	0	8	13	30	90
	小型車	572	6,864	572	6,864	572	6,864	572	6,864	572	4,227	166	1,588	264	2,728	88	88	0	0	3	3	0	0
運搬車輛 合計		1,152	10,272	1,149	13,771	3,714	25,359	1,209	11,084	875	6,644	614	2,749	392	2,974	90	90	0	0	11	16	30	90

表 1-8-1 (4) 工事中車両の走行台数

場所		1年目		2年目		3年目		4年目		5年目		6年目		7年目		8年目		9年目		10年目		11年目	
		最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年
D地区	大型車	3,928	24,633	3,481	20,617	3,121	11,472	816	4,456	222	1,357	5,524	30,530	5,524	64,144	5,159	61,337	5,118	15,008	1,624	8,668	33	106
	小型車	572	4,004	572	6,864	572	6,864	572	6,688	484	5,808	484	5,808	484	5,808	484	5,808	650	7,422	1,263	10,488	308	1,320
運搬車輛 合計		4,500	28,637	4,053	27,481	3,693	18,336	1,388	11,144	706	7,165	6,008	36,338	6,008	69,952	5,643	67,145	5,768	22,430	2,887	19,156	341	1,426

表 1-8-1 (1) 工用車両の走行台数

場 所		1年目		2年目		3年目		4年目		5年目		6年目		7年目		8年目		9年目		10年目		11年目	
		最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年
A地区	大型車	1,574	3,068	757	9,084	2,674	21,821	2,298	8,386	430	4,086	1,953	3,650	120	427	74	174	264	1,320	264	367	264	367
	小型車	330	3,146	330	3,960	330	3,750	360	3,980	340	4,050	313	1,902	313	1,694	88	88	528	2,640	528	531	528	531
運搬車輛	合計	1,904	6,214	1,087	13,044	3,004	25,571	2,658	12,366	770	8,136	2,266	5,552	433	2,121	162	262	792	3,960	792	898	792	898

表 1-8-1 (2) 工用車両の走行台数

場所		1年目		2年目		3年目		4年目		5年目		6年目		7年目		8年目		9年目		10年目		11年目	
		最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年
B地区	大型車	3,924	20,864	3,475	34,867	3,017	26,491	2,489	5,938	11,906	75,164	14,847	154,721	14,847	155,513	14,181	155,624	13,753	89,400	2,118	14,162	278	1,345
	小型車	516	3,411	538	6,161	525	4,719	1,056	7,843	968	11,616	968	11,616	1,452	15,488	1,452	17,424	1,589	14,858	1,919	11,872	555	2,854
運搬車輛	合計	4,440	24,275	4,013	41,028	3,542	31,210	3,545	13,781	12,874	86,780	15,815	166,337	16,299	171,001	15,633	173,048	15,342	104,258	4,037	26,034	833	4,199

表 1-8-1 (3) 工用車両の走行台数

場所		1年目		2年目		3年目		4年目		5年目		6年目		7年目		8年目		9年目		10年目		11年目	
		最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年
C地区	大型車	580	3,408	577	6,907	3,142	18,495	637	4,220	303	2,417	448	1,161	128	246	2	2	0	0	8	13	30	90
	小型車	572	6,864	572	6,864	572	6,864	572	6,864	572	4,227	166	1,588	264	2,728	88	88	0	0	3	3	0	0
運搬車輛	合計	1,152	10,272	1,149	13,771	3,714	25,359	1,209	11,084	875	6,644	614	2,749	392	2,974	90	90	0	0	11	16	30	90

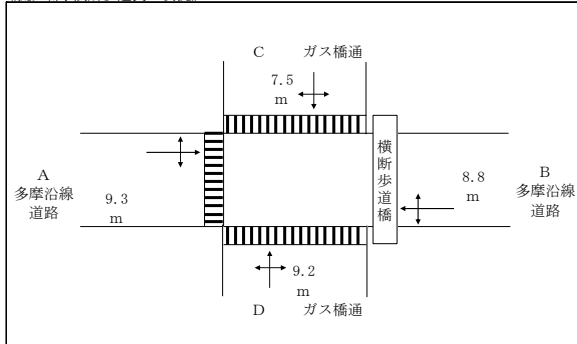
表 1-8-1 (4) 工用車両の走行台数

場所		1年目		2年目		3年目		4年目		5年目		6年目		7年目		8年目		9年目		10年目		11年目	
		最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年	最大台数/月	総台数/年
D地区	大型車	3,928	24,633	3,481	20,617	3,121	11,472	816	4,456	222	1,357	5,524	30,530	5,524	64,144	5,159	61,337	5,118	15,008	1,624	8,668	33	106
	小型車	572	4,004	572	6,864	572	6,864	572	6,688	484	5,808	484	5,808	484	5,808	484	5,808	650	7,422	1,263	10,488	308	1,320
運搬車輛	合計	4,500	28,637	4,053	27,481	3,693	18,336	1,388	11,144	706	7,165	6,008	36,338	6,008	69,952	5,643	67,145	5,768	22,430	2,887	19,156	341	1,426

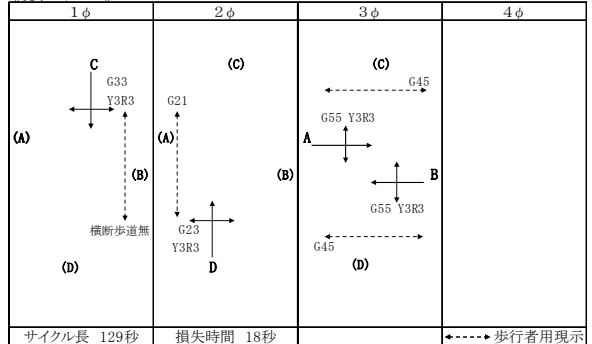
【変更前】(条例評価書資料編 p. 環 1-10-3)

01 ガス橋 (工事中) 14:30~15:30

《流入部、横断歩道長の状況》



《現示パターン》



《交通量: 現況(平成24年11月13日(火))+工事車両》

12時間	現況交通	A			B			C			D			総流入量 (A~D)	
		左	直	右	左	直	右	左	直	右	左	直	右		
	工事車両 注1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	161	0	0	161	
	計	1,888	3,612	317	193	4,874	338	284	1,973	1,460	306	2,160	91	17,496	
ピーク時	ピーク時交通量	現況交通	176	330	45	16	409	48	30	228	140	30	195	5	1,652
		工事車両	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	0	0	18
	計	176	330	45	16	409	48	30	228	140	48	195	5	1,670	
	大型車混入率	現況交通	19.9%	40.6%	24.4%	31.3%	30.3%	8.3%	20.0%	14.0%	12.9%	30.0%	14.4%	60.0%	24.8%
工事車両		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	計	19.9%	40.6%	24.4%	31.3%	30.3%	8.3%	20.0%	14.0%	12.9%	56.3%	14.4%	60.0%	25.6%	

注1) 工事車両: 11時間交通量(7:00~18:00)

《大型車混入率》

流入部	A			B			C			D			平均
車線	直右左			直右左			直右左			直右左			
車線数	1			1			1			1			
大型車混入率	32.7%			28.1%			14.1%			23.4%			25.6%

《交差点需要率の計算》

【歩行者: 実測値】

流入部	A			B			C			D			現示の 需要率	交差点 需要率
車線	直右左			直右左			直右左			直右左				
飽和交通量の基本値: SB	2,000			2,000			2,000			2,000				
車線幅員による補正値: αW (車線幅員) : m	1,000 4.80			1,000 4.84			1,000 3.73			1,000 3.82				
バス停留所による補正値: αB (交差点迄の距離) (m) (バス本数) 台/時														
縦断勾配による補正値: αG (縦断勾配) %	1,000 0.0			1,000 0.0			1,000 0.0			1,000 0.0				
大型車混入による補正値: αT (大型車混入率) %	0.814 32.7%			0.836 28.1%			0.910 14.1%			0.859 23.4%				
左折車混入による補正値: αLT (左折率) % (歩行者による低減率) (有効青時間) (歩行者用青時間)	0.922 31.9% 0.15 55 45			0.991 3.4% 0.15 55 45			0.978 7.5% 0.15 33 31			0.947 19.4% 0.15 23 21				
横断歩道による補正値: αL	—			—			—			—				
右折車混入による補正値: αR (右折率) % (右折車当量) : ERT	0.855 8.2% 2,764			0.868 10.1% 2,248			0.962 35.2% —			0.998 2.0% —				
現示の変わり目処理台数: K (現示の変わり目の捌け台数) (直進交通間隙での処理台数)	2 45 264			2 47 332			— — —			— — —				
飽和交通流率 : SA	1,283			1,438			1,714			1,624				
設計交通量 : q	551			473			398			248				
流入部の需要率 : ρ	0.429			0.329			0.232			0.153				
必要現示率	1φ	—		—			0.232			—			0.232	
	2φ	—		—			—			0.153			0.153	
	3φ	0.429		0.329			—			—			0.429	
	4φ	—		—			—			—			—	0.814

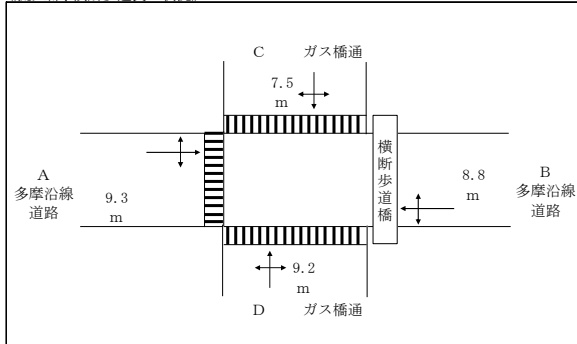
注2) 右折車両の現示の変わり目の処理台数は、専用現示有の場合は大交差点2・小交差点1、専用現示無の場合は大交差点3・小交差点2。

注3) *印の箇所は対向直進交通の間隙で捌ける台数、及び現示の変わり目で捌ける台数を除いた数値

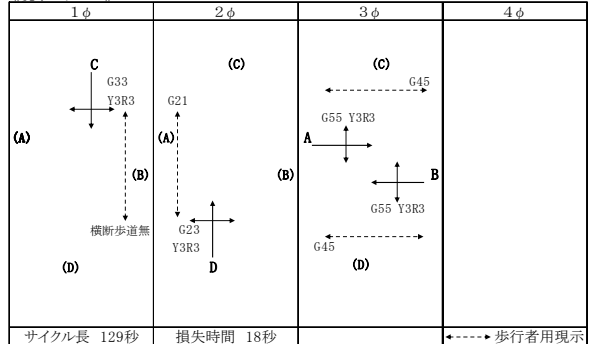
【変更後】

01 ガス橋（工事中）14:30～15:30

《流入部、横断歩道長の状況》



《現示パターン》



《交通量：現況（平成24年11月13日（火））+工事車両》

		A			B			C			D			総流入量 (A~D)	
		左	直	右	左	直	右	左	直	右	左	直	右		
12時間	現況交通	1,888	3,612	317	193	4,874	338	284	1,973	1,460	306	2,160	91	17,496	
	工事車両 注1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	245	0	0	245	
	計	1,888	3,612	317	193	4,874	338	284	1,973	1,460	551	2,160	91	17,741	
ピーク時	ピーク時 交通量	現況交通	176	330	45	16	409	48	30	228	140	30	195	5	1,652
		工事車両	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	0	0	21
	計	176	330	45	16	409	48	30	228	140	51	195	5	1,673	
	大型車 混入率	現況交通	19.9%	40.6%	24.4%	31.3%	30.3%	8.3%	20.0%	14.0%	12.9%	30.0%	14.4%	60.0%	24.8%
		工事車両	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
計	19.9%	40.6%	24.4%	31.3%	30.3%	8.3%	20.0%	14.0%	12.9%	58.8%	14.4%	60.0%	25.7%		

注1) 工事車両：11時間交通量(7:00～18:00)

《大型車混入率》

流入部	A			B			C			D			平均
車線	直右左			直右左			直右左			直右左			
車線数	1			1			1			1			
大型車混入率	32.7%			28.1%			14.1%			24.3%			25.7%

《交差点需要率の計算》

【歩行者：実測値】

流入部	A			B			C			D			現示の 需要率	交差点 需要率
車線	直右左			直右左			直右左			直右左				
飽和交通量の基本値：SB	2,000			2,000			2,000			2,000				
車線幅員による補正値：αW (車線幅員) : m	1,000 4.80			1,000 4.84			1,000 3.73			1,000 3.82				
バス停留所による補正値：αB (交差点迄の距離) (バス本数) : 台/時														
縦断勾配による補正値：αG (縦断勾配) : %	1,000 0.0			1,000 0.0			1,000 0.0			1,000 0.0				
大型車混入による補正値：αT (大型車混入率) : %	0.814 32.7%			0.836 28.1%			0.910 14.1%			0.855 24.3%				
左折車混入による補正値：αLT (左折率) : % (歩行者による低減率) (有効青時間) (歩行者用青時間)	0.922 31.9% 0.15 55 45			0.991 3.4% 0.15 55 45			0.978 7.5% 0.15 33 31			0.944 20.3% 0.15 23 21				
横断歩道による補正値：αL	—			—			—			—				
右折車混入による補正値：αR (右折率) : % (右折車当量) : ERT	0.855 8.2% 2.764			0.868 10.1% 2.248			0.962 35.2% —			0.998 2.0% —				
現示の変わり目処理台数：K (現示の変わり目の捌け台数) (直進交通間隙での処理台数)	2 45 264			2 47 332			— — —			— — —				
飽和交通流率 : SA	1,283			1,438			1,714			1,611				
設計交通量 : q	551			473			398			251				
流入部の需要率 : ρ	0.429			0.329			0.232			0.156				
必要現示率	1φ	—		—			0.232			—			0.232	
	2φ	—		—			—			0.156			0.156	
	3φ	0.429		0.329			—			—			0.429	
	4φ	—		—			—			—			—	0.817

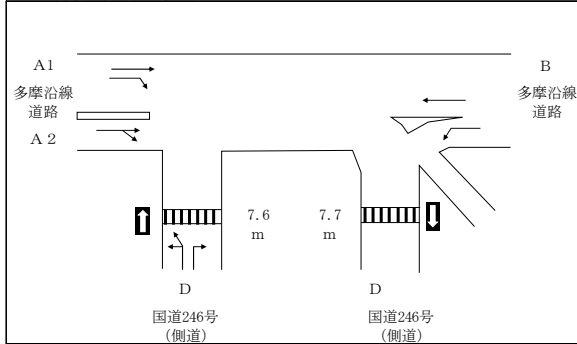
注2) 右折車両の現示の変わり目の処理台数は、専用現示有の場合は大交差点2・小交差点1、専用現示無の場合は大交差点3・小交差点2。

注3) *印の箇所は対向直進交通の間隙で捌ける台数、及び現示の変わり目で捌ける台数を除いた数値

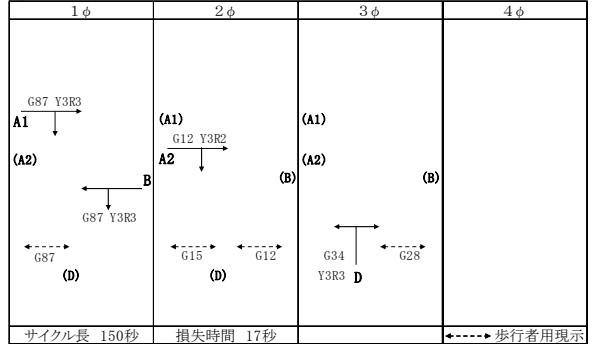
【変更前】(条例評価書資料編 p. 環 1-10-5)

02 厚木街道立体交差(工事中) 17:00~18:00

《流入部、横断歩道長の状況》



《現示パターン》



《交通量:現況(平成24年11月13日(火))+工事車両》

12時間	現況交通	A1			A2			B			D			総流入量 (A~D)
		左	直	右	左	直	右	左	直	右	左	直	右	
	工事車両 注1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	161
	計	5,506	572	722	68	2,497	6,104	883	2,912	19,264				
ピーク時	ピーク時交通量	現況交通	621	62	51	6	157	498	91	292	1,778			
		工事車両	0	0	0	0	13	0	0	0	13			
	大型車混入率	計	621	62	51	6	170	498	91	292	1,791			
		計	18.2%	14.5%	9.8%	66.7%	16.6%	15.5%	30.8%	22.6%	18.4%			
	計	18.2%	14.5%	9.8%	66.7%	15.3%	15.5%	30.8%	22.6%	18.3%				

注1) 工事車両:11時間交通量(7:00~18:00)

《大型車混入率》

流入部	A1			A2			B			D			平均
車線	直	右	直右	直	右	左	直	右	左	直	右		
車線数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
大型車混入率	18.2%	14.5%	15.8%	15.3%	15.5%	30.8%	22.6%	18.3%					

《交差点需要率の計算》

【歩行者:実測値】

流入部	A1			A2			B			D			現示の 需要率	交差点 需要率
車線	直	右	直右	直	右	左	直	右	左	直	右			
飽和交通量の基本値:SB	2,000	1,800	2,000	1,800	2,000	1,800	2,000	1,800	1,800	2,000	1,800			
車線幅員による補正值:αW (車線幅員)	0.950	0.950	0.900	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000			
バス停留所による補正值:αB (交差点迄の距離) (バス本数)	2.78	2.51	2.28	3.25	3.17	3.25	3.38	3.25	3.38	3.25	3.38			
縦断勾配による補正值:αG (縦断勾配)	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000			
大型車混入による補正值:αT (大型車混入率)	0.887	0.908	0.900	0.903	0.902	0.823	0.863	0.823	0.863	0.823	0.863			
左折車混入による補正值:αLT (左折率)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
(歩行者による低減率)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
(有効青時間)	87	(87)	12	87	87	34	34	87	87	34	34			
(歩行者用青時間)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
横断歩道による補正值:αL	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
右折車混入による補正值:αR (右折率)	—	—	0.988	—	—	—	—	—	—	—	—			
(右折車当量):ERT	—	—	10.5%	—	—	—	—	—	—	—	—			
現示の変わり目処理台数:K (現示の変わり目の捌け台数)	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
(直進交通間隙での処理台数)	—	41	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
(直進交通間隙での処理台数)	—	408	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
飽和交通流率:SA	1,685	1,552	1,602	1,626	1,805	1,481	1,554	1,626	1,805	1,481	1,554			
設計交通量:q	621	57	57	170	498	91	292	621	57	57	57			
流入部の需要率:ρ	0.368	—	0.036	0.105	0.276	0.061	0.188	0.368	—	0.036	0.188			
必要現示率	1φ	0.368	—	—	0.105	0.276	—	—	—	—	—	0.368		
	2φ	—	—	0.036	—	—	—	—	—	—	—	0.036		
	3φ	—	—	—	—	—	0.061	0.188	—	—	—	0.188		
	4φ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.188		
												0.592		

注2) 右折車両の現示の変わり目の処理台数は、専用現示有の場合は大交差点2・小交差点1、専用現示無の場合は大交差点3・小交差点2。

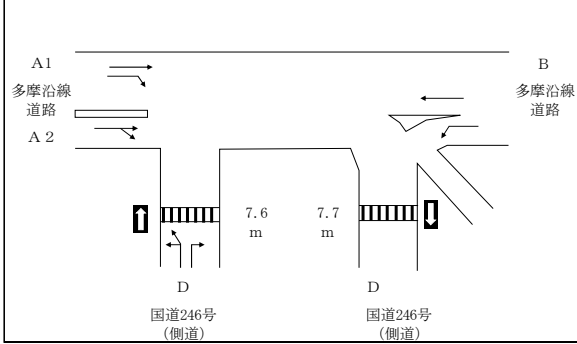
注3) *印の箇所は対向直進交通の間隙で捌ける台数、及び現示の変わり目で捌ける台数を除いた数値

注4) 幅員2.5m未満の車線幅員による補正值は0.9と設定(基準値 直進車線:3.0m以上:1.00、2.5m~3.0m:0.95 右左折車線:2.75m以上:1.00、2.5m~2.75m:0.95)

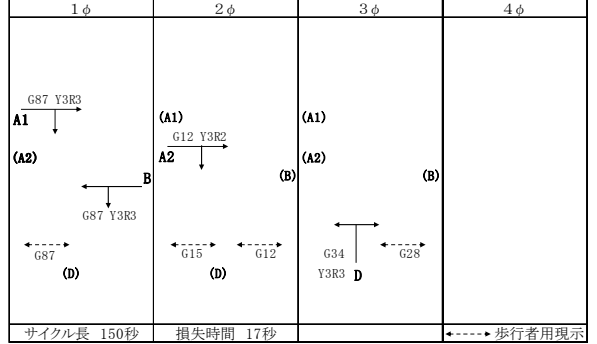
【変更後】

02 厚木街道立体交差（工事中）17:00~18:00

《流入部、横断歩道長の状況》



《現示パターン》



《交通量：現況（平成24年11月13日（火））+工事車両》

		A1			A2			B			D			総流入量 (A~D)
		左	直	右	左	直	右	左	直	右	左	直	右	
12時間	現況交通		5,506	572		722	68	2,497	6,104		883		2,912	19,264
	工事車両 注1)		0	0		0	0	245	0		0		0	245
	計		5,506	572		722	68	2,742	6,104		883		2,912	19,509
ピーク時	ピーク時 交通量	現況交通	621	62	51	6	157	498	91		292			1,778
		工事車両	0	0	0	0	21	0	0		0			21
		計	621	62	51	6	178	498	91		292			1,799
	大型車 混入率	現況交通	18.2%	14.5%	9.8%	66.7%	16.6%	15.5%	30.8%		22.6%			18.4%
		工事車両	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%		0.0%			100.0%
	計	18.2%	14.5%	9.8%	66.7%	26.4%	15.5%	30.8%		22.6%			19.4%	

注1) 工事車両：11時間交通量(7:00~18:00)

《大型車混入率》

流入部	A1			A2			B			D			平均
	直		右	直右			左	直		左		右	
車線													
車線数	1		1	1			1	1		1		1	
大型車混入率	18.2%		14.5%	15.8%			26.4%	15.5%		30.8%		22.6%	19.4%

《交差点需要率の計算》

【歩行者：実測値】

流入部	A1			A2			B			D			現示の 需要率	交差点 需要率
	直		右	直右			左	直		左		右		
車線数	1		1	1			1	1		1		1		
飽和交通量の基本値：SB	2,000		1,800	2,000			1,800	2,000		1,800		1,800		
車線幅員による補正値：αW (車線幅員) m	0.950		0.950	0.900			1.000	1.000		1.000		1.000		
バス停留所による補正値：αB (交差点迄の距離) (m) (バス本数) 台/時			2.78	2.51	2.28		3.25	3.17		3.25		3.38		
縦断勾配による補正値：αG (縦断勾配) %	1.000		1.000	1.000			1.000	1.000		1.000		1.000		
大型車混入による補正値：αT (大型車混入率) %	0.887		0.908	0.900			0.844	0.902		0.823		0.863		
左折車混入による補正値：αLT (左折率) % (歩行者による低減率) (有効青時間) 秒 (歩行者用青時間) 秒	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
横断歩道による補正値：αL	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
右折車混入による補正値：αR (右折率) % (右折車当量) :ERT	—		—	0.988			—	—		—		—		—
現示の変わり目処理台数：K (現示の変わり目の捌け台数) (直進交通間隙での処理台数)	—		—	2			—	—		—		—		—
飽和交通流率 :SA	1,685		1,552	1,602			1,519	1,805		1,481		1,554		
設計交通量 :q	621		—	57			178	498		91		292		
流入部の需要率 :ρ	0.368		—	0.036			0.117	0.276		0.061		0.188		
必要現示率	1φ	0.368	—	—			0.117	0.276		—		—		0.368
	2φ	—	—	0.036			—	—		—		—		0.036
	3φ	—	—	—			—	—		0.061		0.188		0.018
	4φ	—	—	—			—	—		—		—		0.592

注2) 右折車両の現示の変わり目の処理台数は、専用現示の場合は大交差点2・小交差点1、専用現示無の場合は大交差点3・小交差点2。

注3) *印の箇所は対向直進交通の間隙で捌ける台数、及び現示の変わり目で捌ける台数を除いた数値

注4) 幅員2.5m未満の車線幅員による補正値は0.9と設定(基準値 直進車線：3.0m以上：1.00、2.5m~3.0m：0.95 右左折車線：2.75m以上：1.00、2.5m~2.75m：0.95)

【変更前】（条例評価書資料編 p. 環 1-11-1）

表 1-11-1 現況及び工事中の車線混雑度（ガス橋、野川）

	予測地点			予測 時間帯	設計 交通量 (台/時)	工事用 車両台数 (台/時)	設計交通 量に対す る工事用 車両台数 の割合 (%)	車線混雑度		
	断面	車線	車線数					現況	工事中	増加分
01 ガス橋	A断面	直右左	1	14:30 ~	551	0	0.0%	1.007	1.007	0.000
	B断面	直右左	1		473	0	0.0%	0.772	0.772	0.000
	C断面	直右左	1	15:30	398	0	0.0%	0.907	0.907	0.000
	D断面	直右左	1		248	18	7.3%	0.752	0.855	0.103
03 野川	A断面	直左	1	14:00 ~ 15:00	723	0	0.0%	0.574	0.574	0.000
		直	1		263	0	0.0%	1.335	1.335	0.000
		右	1		775	0	0.0%	0.617	0.617	0.000
	B断面	直左	1		3	0	0.0%	0.015	0.015	0.000
		直	1		251	0	0.0%	0.558	0.558	0.000
	C断面	右	1		236	0	0.0%	0.640	0.640	0.000
		直左	1		518	84	16.2%	1.104	1.472	0.368
	D断面	右	1		178	0	0.0%	0.440	0.440	0.000

※表中に示した設計交通量は、（実測交通量または需要交通量）＋工事用車両台数である。

【変更後】

表 1-11-1 現況及び工事中の車線混雑度（ガス橋、野川）

	予測地点			予測 時間帯	設計 交通量 (台/時)	工事用 車両台数 (台/時)	設計交通 量に対す る工事用 車両台数 の割合 (%)	車線混雑度		
	断面	車線	車線数					現況	工事中	増加分
01 ガス橋	A断面	直右左	1	14:30 ~	551	0	0.0%	1.007	1.007	0.000
	B断面	直右左	1		473	0	0.0%	0.772	0.772	0.000
	C断面	直右左	1	15:30	398	0	0.0%	0.907	0.907	0.000
	D断面	直右左	1		251	21	8.4%	0.752	0.875	0.123
03 野川	A断面	直左	1	14:00 ~ 15:00	723	0	0.0%	0.574	0.574	0.000
		直	1		263	0	0.0%	1.335	1.335	0.000
		右	1		775	0	0.0%	0.617	0.617	0.000
	B断面	直左	1		3	0	0.0%	0.015	0.015	0.000
		直	1		251	0	0.0%	0.558	0.558	0.000
	C断面	右	1		236	0	0.0%	0.640	0.640	0.000
		直左	1		518	84	16.2%	1.104	1.472	0.368
	D断面	右	1		178	0	0.0%	0.440	0.440	0.000

※表中に示した設計交通量は、(実測交通量または需要交通量) + 工事用車両台数である。

II 変更に伴う環境影響評価の概要

本事業の変更内容は「I 変更の概要」に示したとおりである。
本変更に伴う環境影響評価の変更概要は表 2-1 に示すとおりである。

表 2-1 本変更に伴う環境影響評価の変更概要

環境影響評価項目		予測時期	環境影響評価の変更概要	再予測の有無
地域社会	人と自然とのふれあい活動の場	工事中	工事計画の変更により、工事用車両の運行計画が変更となるが、工事施工ヤードの変更はなく、人と自然とのふれあい活動の場までの利用経路阻害の程度も少ないことから、人と自然とのふれあい活動の場に関する評価の内容に変更はない。	—
	地域交通 (交通混雑、交通安全)	工事中	<p>工事計画の変更により、今回の変更期間（1年目～5年目）における1日の最大走行台数は245台（月に数日の構築工コンクリート打設）となり、予測台数が変更となる。また、市道幸多摩線からの出入口整備までの期間において、図5-2-1(1)で示すルートを使用する。よって、再予測を行った。</p> <p>交通量、交通流への影響に関して、予測地点での交差点需要率は交差点交通量に支障が出るとされる0.9を下回っているとともに、交差点の車両の流入および流出を分散化させる等により影響を極力抑制するよう配慮する。また、交通安全への影響に関して、市道幸多摩線からの出入口整備までの期間に使用するルートについては、工事用車両が通行する期間及び台数を極力少なくするとともに、ルート上に交通誘導員を配置する計画としている。よって、地域交通（交通混雑、交通安全）に関する評価の内容に変更はない。</p>	○

図 5-2-1 (1)の補足資料

幸多摩線からの出入口整備期間中に使用するルートの詳細を以下に示す。

